

障がい者アート通信

(vol.1)

令和3年2月24日発行

お問い合わせ先

東北広域振興局保健福祉環境部福祉課 (0194-53-4982) または

久慈地域障害者自立支援協議会事務局 (久慈市社会福祉課) (0194-52-2119)

～ 共に生きる社会を目指して ～

県北広域振興局では、久慈地域障害者自立支援協議会等と連携して障がい者アートの推進に取り組んでいます。初年度である平成29年度は、障害福祉サービス事業所等の職員を対象とした障がい者アート研修会や障がい者の方に創作活動を体験してもらうための講師派遣を行いました。また、平成30年度からは、これらの事業に加えて公共施設での作品展も実施し、障がい者の創作意欲向上や地域住民の障がい(者)への理解を促す機会にもなっています。

〔久慈市文化会館 (アンバーホール)〕

今回は、令和2年度の取組の様子を紹介します。

1 障がい者アート作品展

障害者週間〔令和2年12月3日(木)～9日(水)〕に合わせて久慈市文化会館(アンバーホール)で開催し、8事業所等計102作品の出展がありました。

事業所等利用者の皆さんが日頃の活動の中で制作したもので、どれも個性溢れる作品ばかりです。



〔参加事業所等〕

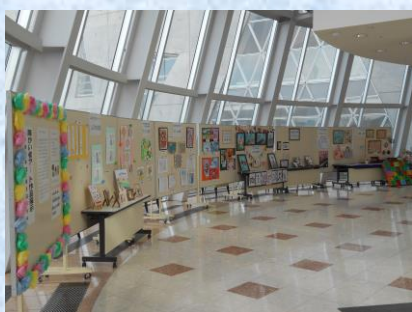
- ① 自主グループ しらかば会 (久慈市)、② 就労継続支援B型事業所 ワークス洋野 (洋野町)、③ 地域活動支援 いっぽ (久慈市)、④ 障害者支援施設 ひばり療護園 (久慈市)、⑤ 就労継続支援B型事業所 みずき園 (久慈市)、⑥ 琥珀の泉 地域活動支援センター (久慈市)、⑦ 就労継続支援A型・B型事業所 ぎゅっと。(久慈市)、⑧ 地域活動支援センター 風花 (野田村)

～ 作品展の様子 ～

〔展示風景①〕

〔展示風景②〕

〔しらかば会〕



〔ワークス洋野〕

〔いっぽ〕

〔ひばり療護園〕



〔みずき園〕



〔琥珀の泉〕



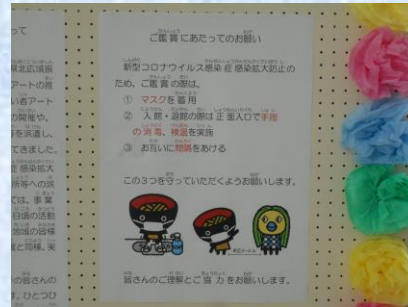
〔ぎゅっと。〕



〔風花〕



〔コロナウイルス注意喚起〕



感染症対策を講じて実施しました！



〔講師：阿部 美春 様〕

2 障がい者アート研修会

令和 3 年 1 月 27 日（水）に久慈市総合福祉センター（福祉の村）で社会福祉法人 盛岡市民福祉バンク 福祉バンク 3R センター ハート店店長・サービス管理責任者の 阿部 美春（あべ みはる） 様を講師にお招きして開催し、支援者である事業所等職員 11 名が参加しました。

研修会では、阿部様より 3R センターでの障がい者アートの実践についてご紹介いただくとともに、アート支援において意識していること、周囲から応援されるようにまでの苦勞話をお話いただきました。

阿部様は、普段から利用者とのコミュニケーションを欠かさず、何気ない会話や行動からその人のストレングス＝強みを引き出すことに努めている旨話しており、まさに、それこそが支援の第 1 歩であると感じたところです。

なお、3R センターからは毎年個性豊かな作品が作品展に出展されており、盛岡市民福祉バンク主催の「福祉バンクアート展（第 3 回）」が令和 3 年 10 月に県民会館で開催予定となっております。

〔盛岡市民福祉バンク：☎020-0885 盛岡市紺屋町 2-9 ☎019-652-0879、<http://m-fukushibank.or.jp/>〕



〔研修会の様子〕



今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった事業もあったほか、作品展示や研修会も実施時期の変更、参加者の制限、マスク着用、手指の消毒、適度の距離の確保などの対策を講じたうえで実施しました。次年度は新型コロナウイルス感染症も収束し、これまでどおりの形で開催できることを望んでいます。

障がい者の芸術活動は、余暇活動の充実や生きがいづくりのほか、社会参加の促進、潜在的な能力の発揮など、様々な効果が期待されることから、この障がい者アート推進事業を通じて、障がいの有無にとらわれず、お互いを尊重し合い、共に生きる社会を目指していきます。

今後は、事業の取組の様子のほか、実際に障がい者アートに取り組んでいる事業所等の紹介も行っていきたいと思ひます。